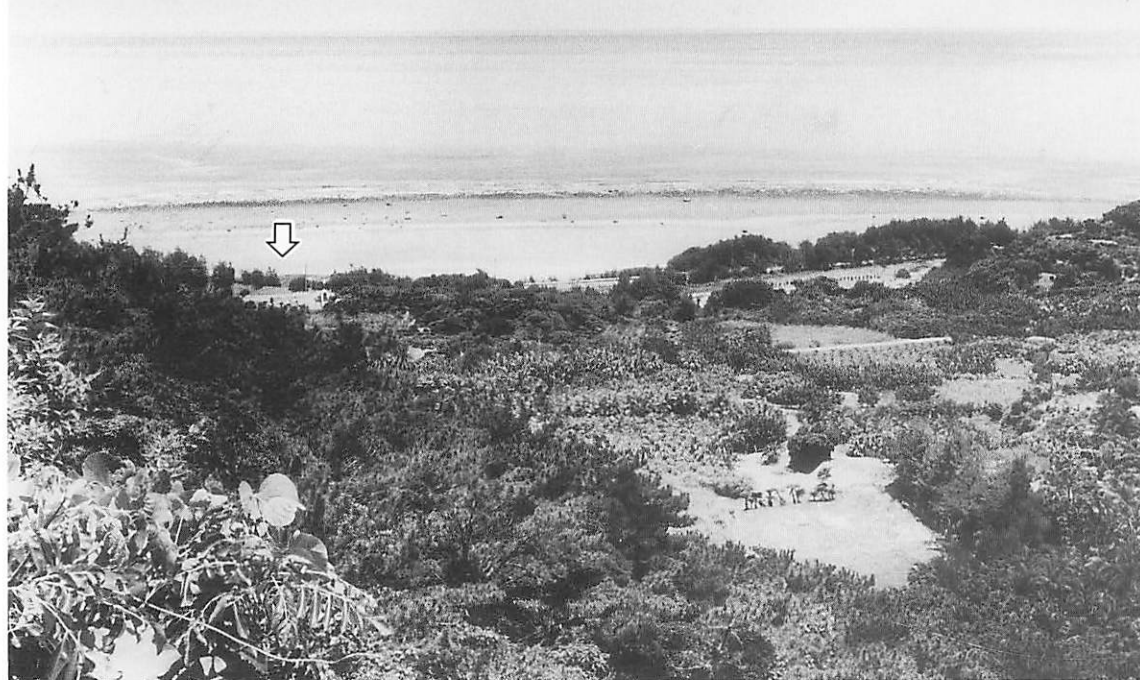


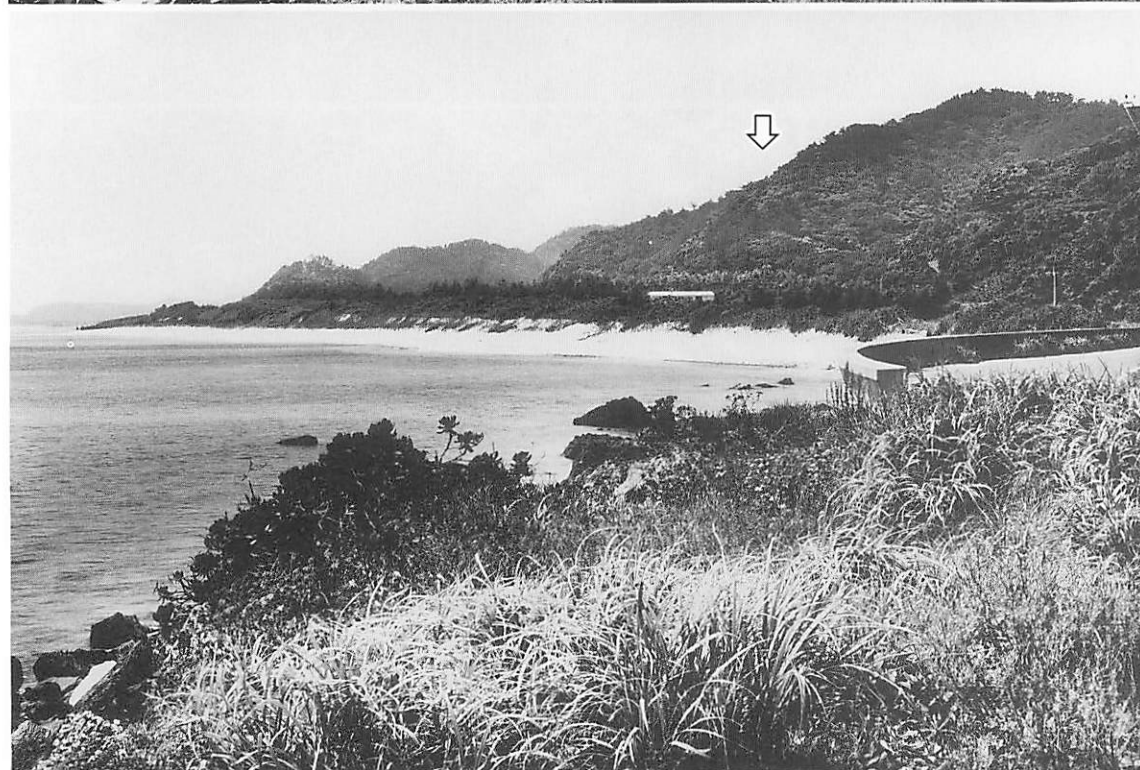
版 圖



用長浜遺跡遠景

(西側より)

遺跡西に接する高崎山中腹から撮影。矢印のところが遺跡で、用見崎と類似した地形である。沖の白波の一線は干瀬、干瀬と浜の間が礁湖である。



用見崎遺跡遠景

(北側より)

遺跡北の灯台下からのぞむ。矢印下の白い家のところが遺跡。背後は高崎山。



笠利崎の灯台近くの滝水
現在も豊かな水源であり、島の人々の信仰の対象となっている。

遺跡近景（南側より）

左（西側）は高崎山の山裾で、山裾に接する砂丘が遺跡である。中央を横切る溝の東側が前年度発掘区、西側が本年の発掘区である。



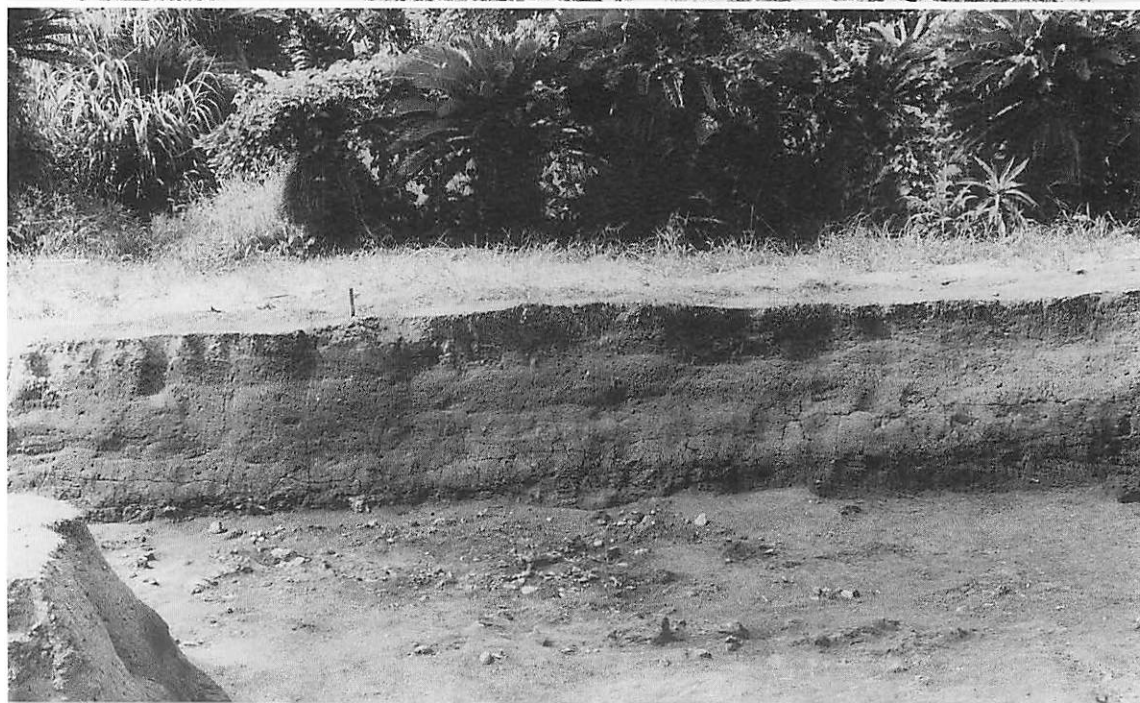
遺跡近景（東側より）

ソテツが密集する地帯が山裾。これに平行して写真中央を溝がはしる。



B-2・B-3区南壁
セクション

包含層は壁下面に黒くのびる部分。この上半部に遺物が集中している。





B-3 区南壁セクション
掘り上がり時南壁沿いの
包含層堆積状況。黒くみ
える層が包含層で、左半
部は水平であるが、右半
部は山にむかって傾斜し
ている。包含層の上には
水田の床土・耕作土・表
土が堆積する。



**第2トレンチ北壁
セクション**

包含層の上に水田の床土
が堆積し、同じ土で盛り
上げた水田の畦がセクシ
ョン右側にみられる。こ
れは右端の溝によって切
られている。



**A-2 区遺物出土状況
(南側より)**

左に重なったホシダカ
ラ・ヤコウガイ製錘・ヒ
メジャコ、中央にマガキ
ガイ・土器片がある。

B-2区遺物出土状況

(南側より)

中央下に土器片・ヤコウガイ、右下にヤコウガイ蓋製利器がある。



B-2区

コラムサンプリング

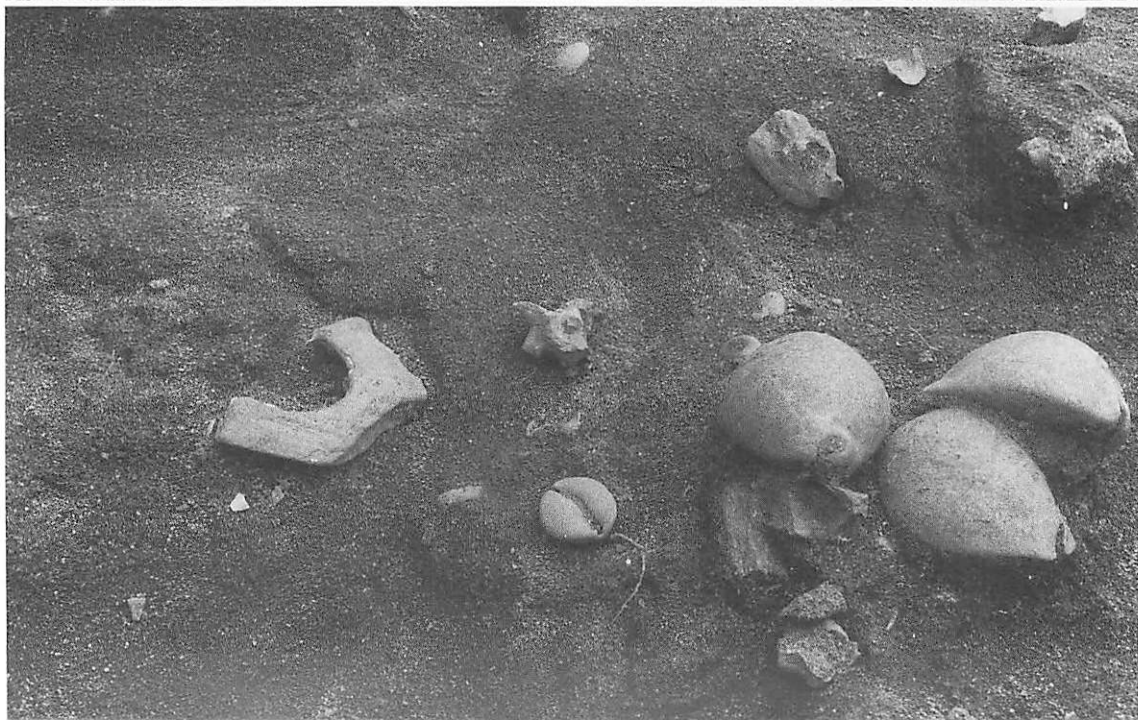
リュウキュウヒバリ・アマオブネなど貝の多く出土するところを25cm四方に限って土ごと採取する。

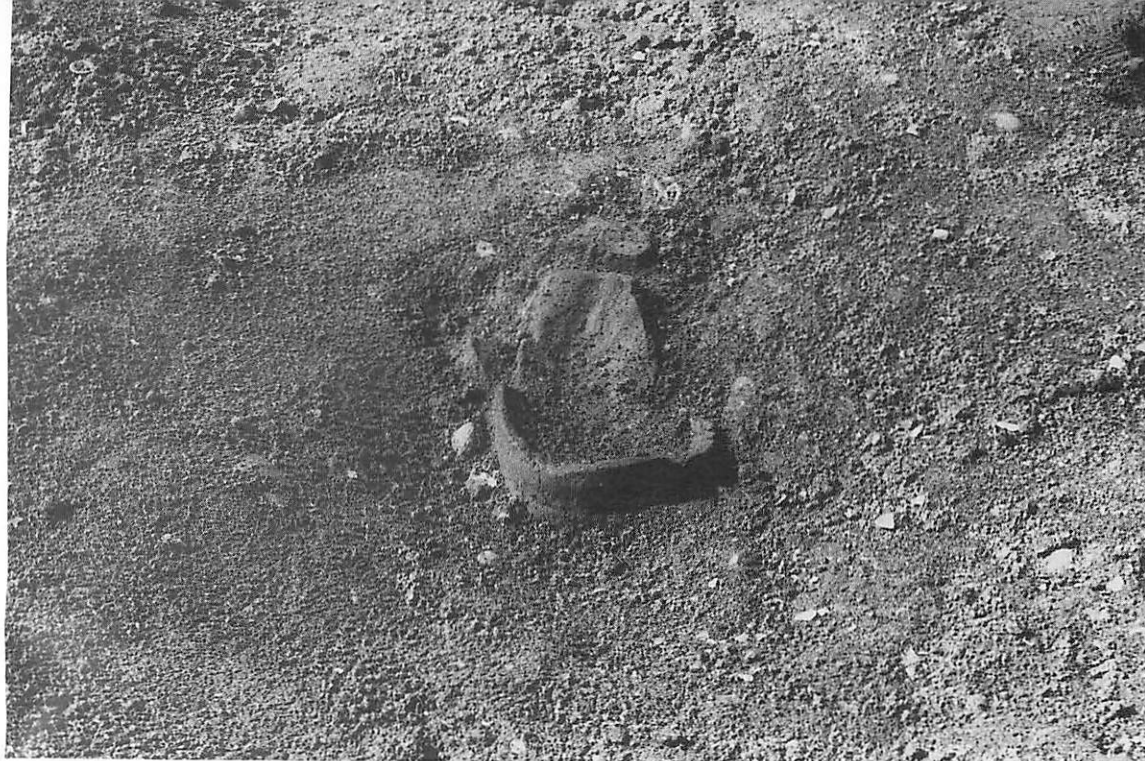


A-2区遺物出土状況

(西側より)

ホシダカラが3個重なり、ヤコウガイ貝鍾が出土。





A-2区遺物出土状況
(北側より)

甕の底部が立位で出土した。周囲に明確な掘り方は認められなかった。



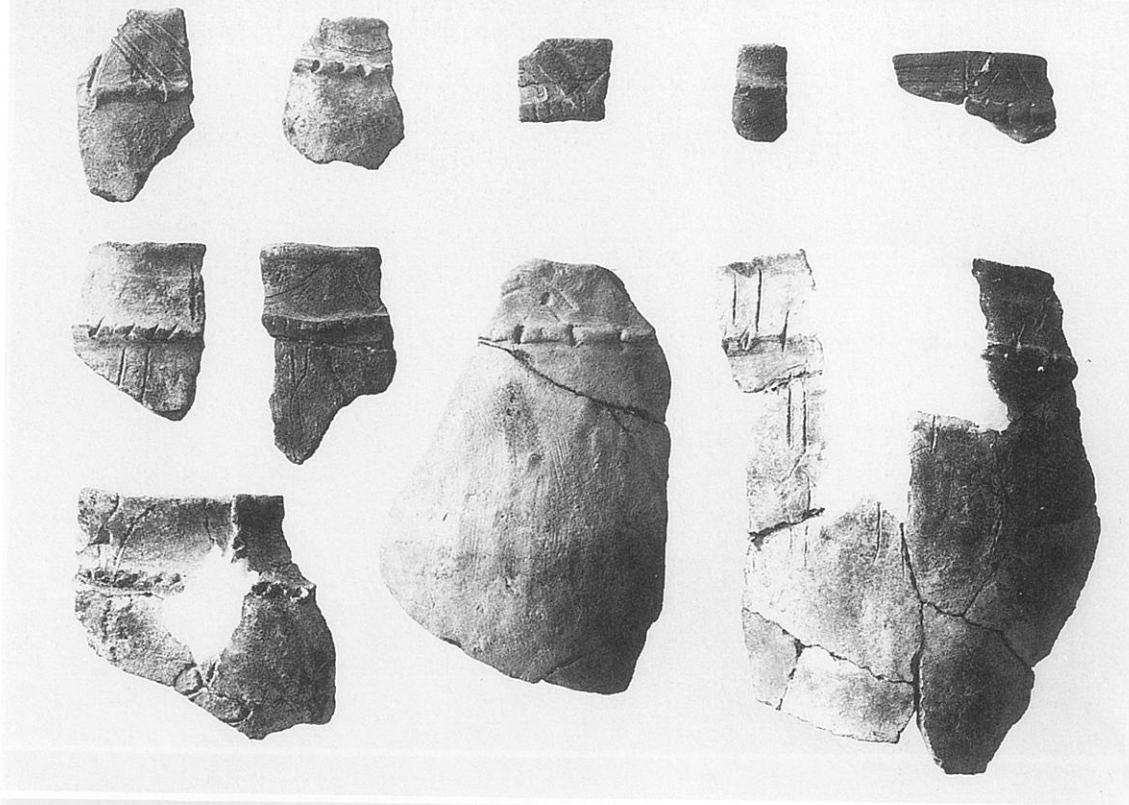
調査終了時掘り上がり
(北側より)

正面はB-2・3区南壁。B-3区のセクションに沿って東西にのびる幅1mのトレンチを山側まで掘った。

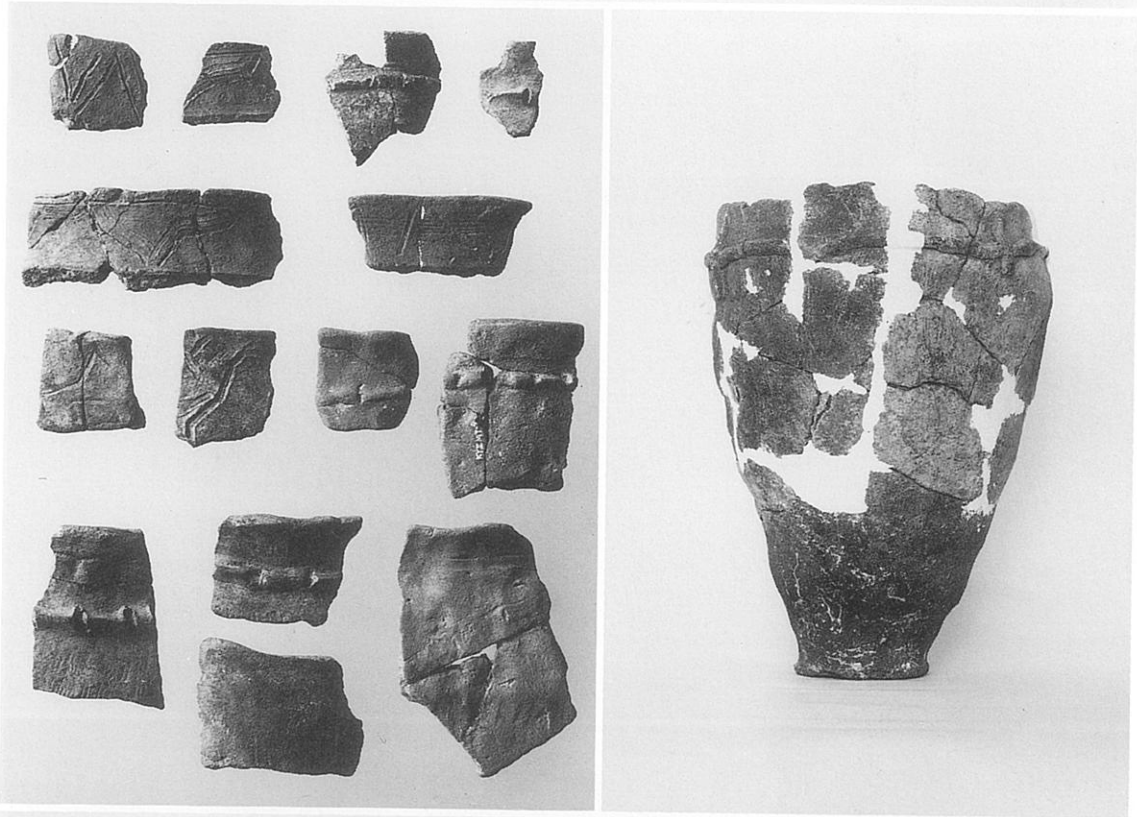


現地説明会

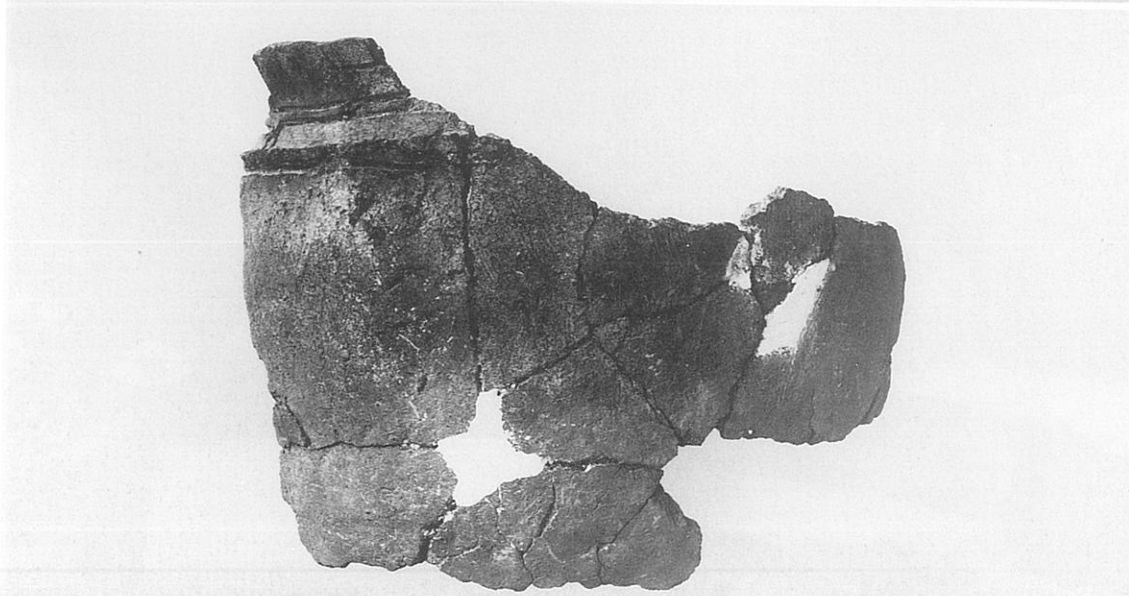
遺跡の概要と今回の発掘調査の成果を説明をする。



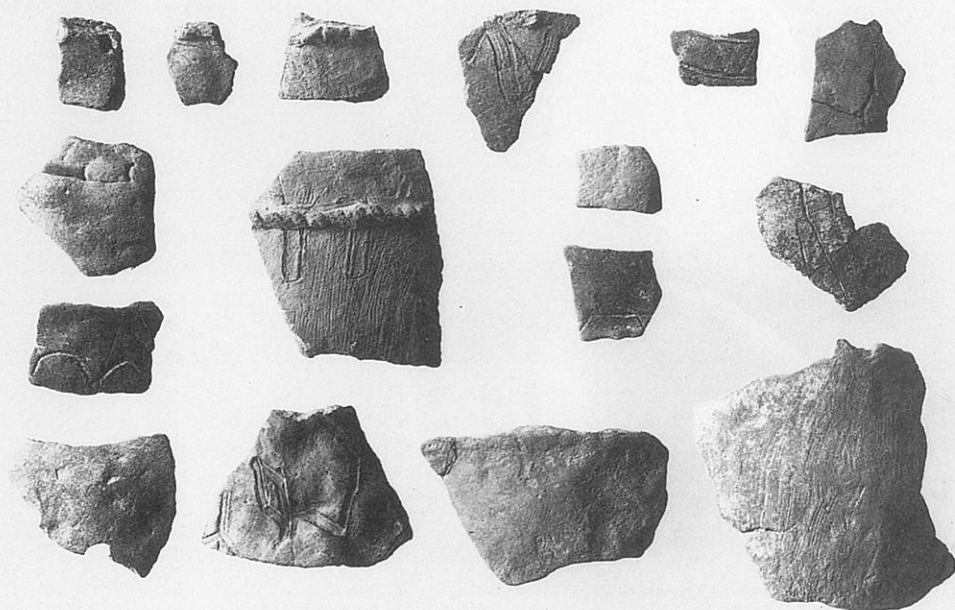
出土土器
甕 口縁部 1 類



出土土器
左側 甕 口縁部
2・3・4 類
その他
壺(右下)口縁部
右側 甕 2 類



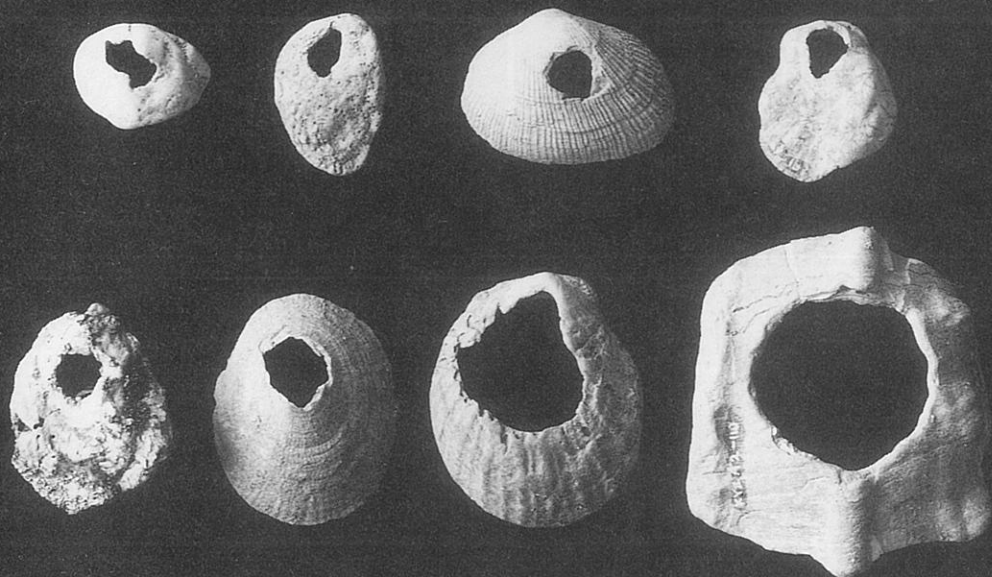
出土土器 甕 1 類



出土土器 胴部



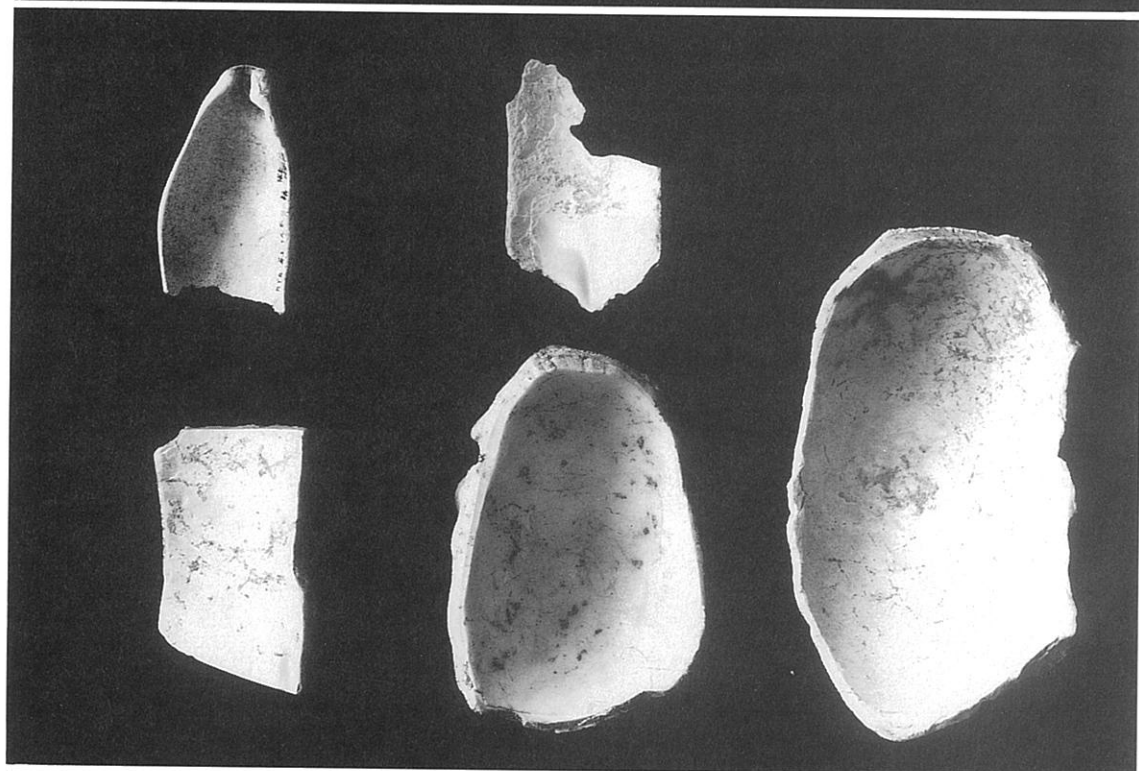
出土土器 底部
(下段は底面)



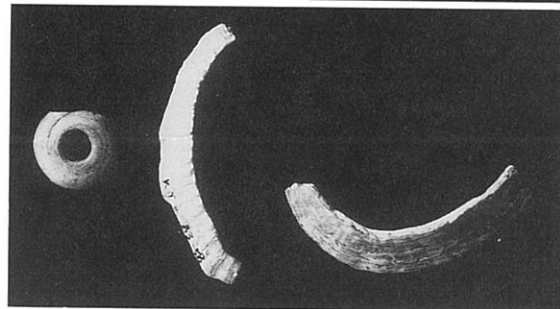
貝鍾



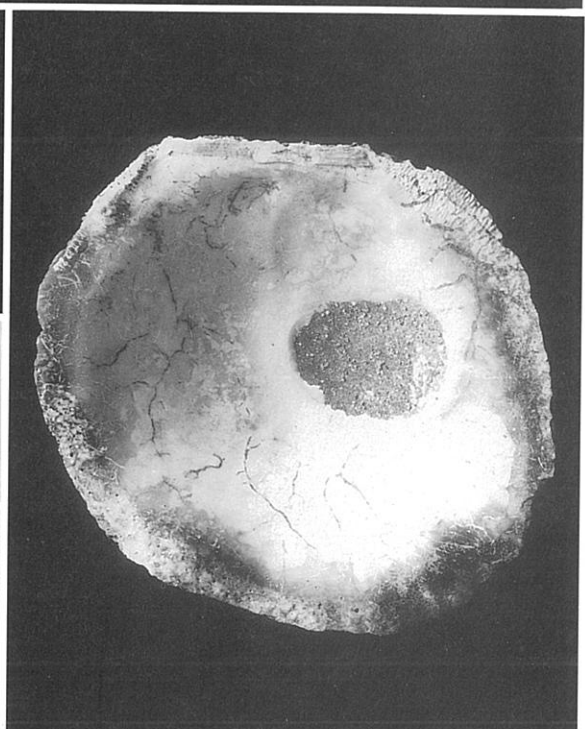
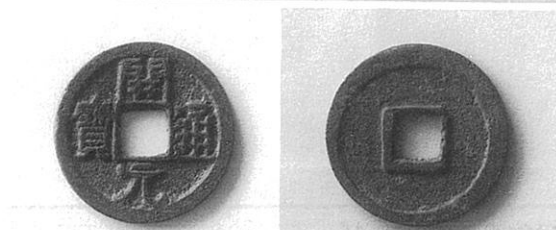
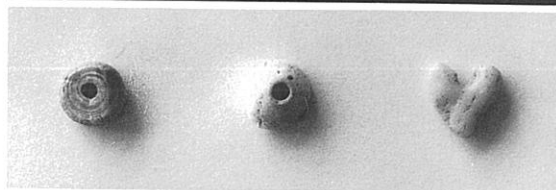
ヤコウガイ蓋製利器



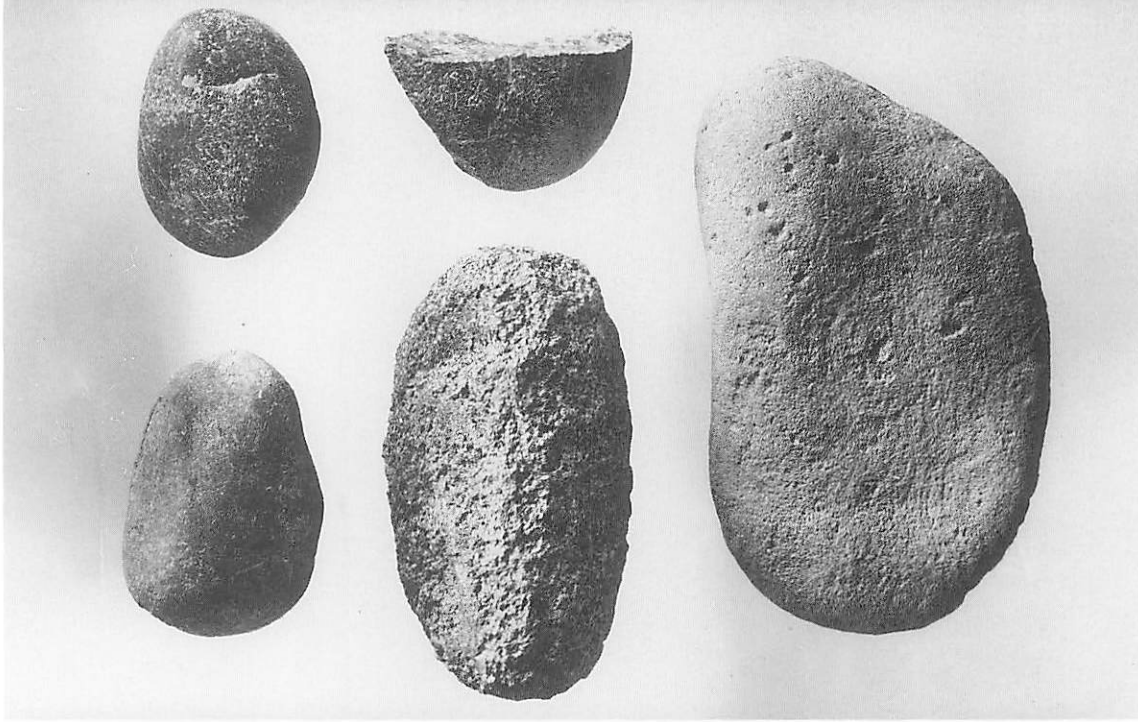
匙状貝製品



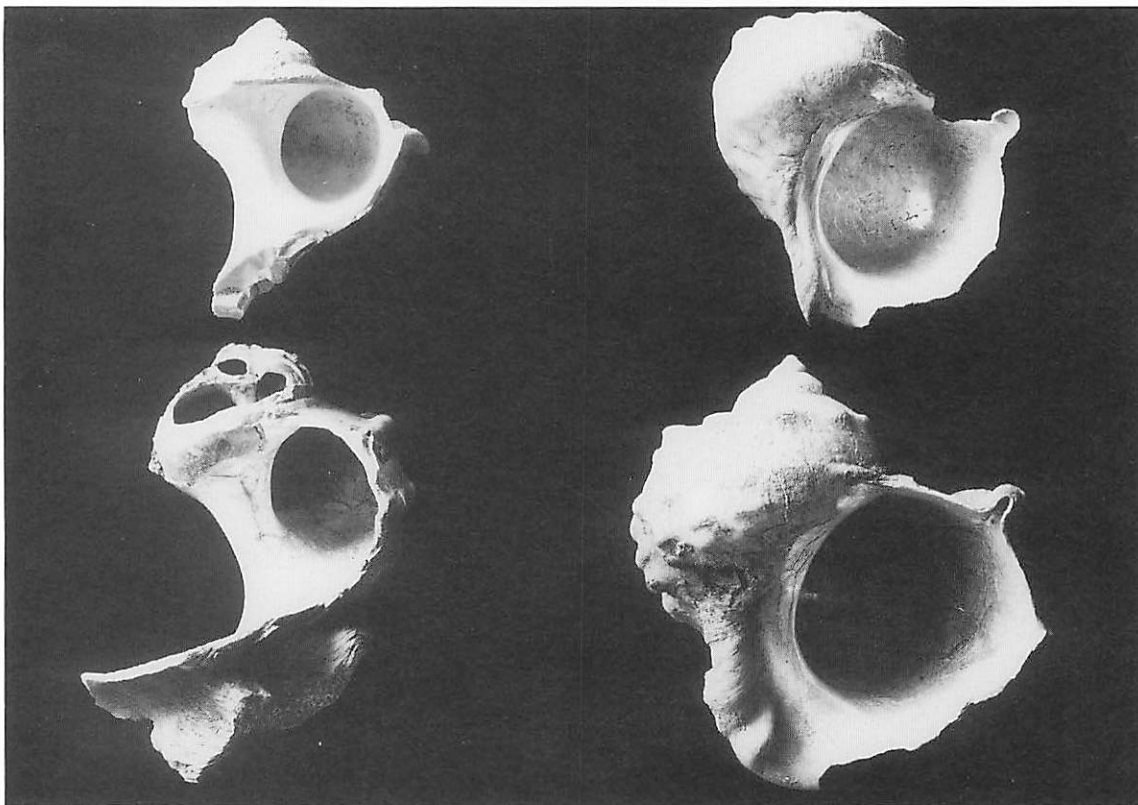
- A 左は貝製玉
右・中は貝輪
- B 左・中は貝製玉
右は用途不明貝製品
- C 開元通宝（表・裏）
- D 皿状貝製品



A	D
B	
C	



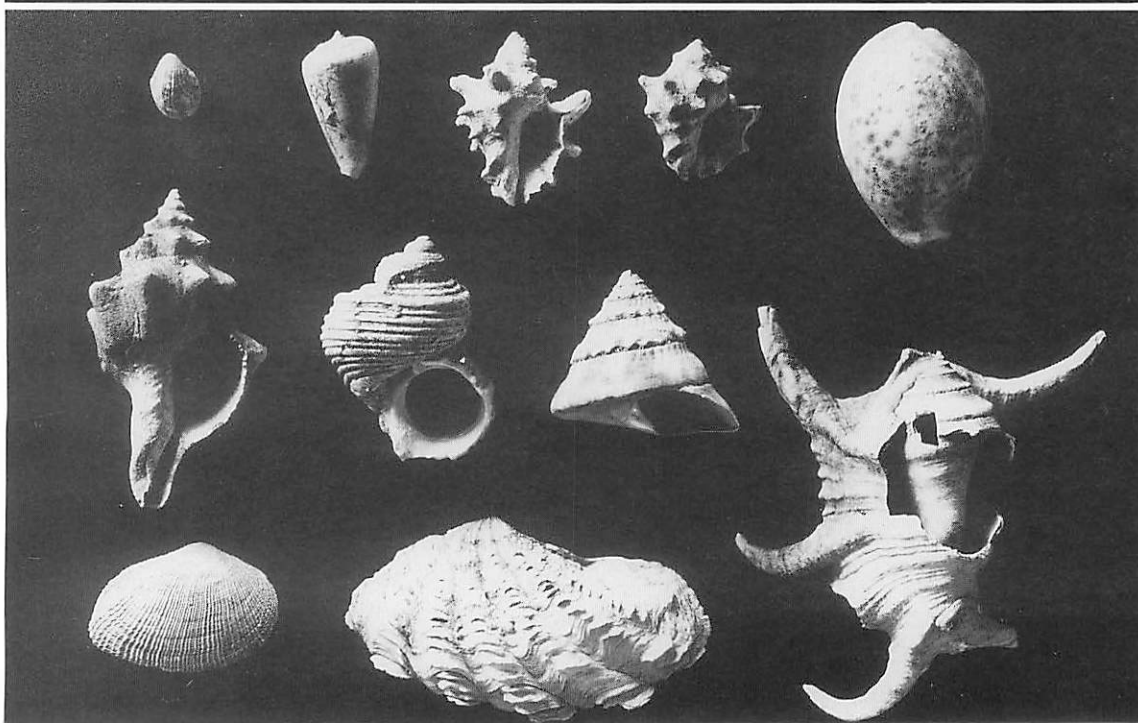
出土石器



出土貝類

ヤコウガイ。

体層に破損があり、殻頂、
殻口部が欠損している。



出土貝類

- 1 アマオブネ
- 2 マガキガイ
- 3 シラクモガイ
- 4 レイシ
- 5 ホシダカラ
- 6 イトマキボラ
- 7 チョウセンサザエ
- 8 サラサバテイ
- 9 スイジガイ
- 10 リュウキュウマスオ
- 11 シラナミ

1	2	3	4	5
6	7	8		9
10	11			

報 告 書 抄 録

ふりがな	ようみさきいせき							
書 名	用見崎遺跡							
副 書 名								
巻 次								
シリーズ名	熊本大学考古学研究室活動報告							
シリーズ号	31							
編 著 者 名	山田康弘・原田範昭							
編 集 機 関	熊本大学文学部考古学研究室							
所 在 地	〒860 熊本県熊本市黒髪2－40－1 TEL・FAX096－342－2324							
発行年月日	1996年3月1日							
ふりがな 所収遺跡名		コ ー ド		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
	所在地	市町村	遺跡番号					
ようみさき 用見崎遺跡	鹿児島県 大島郡 笠利町 用字見崎	465283	1	28° 31′ 30″	129° 41′ 32″	19950711 19950721	110m²	学術調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特 記 事 項		
用見崎遺跡	砂丘 遺跡	古墳時代 ～古代	遺物 包含層	兼久式土器 石器 貝製品 開元通宝				

用見崎遺跡

研究室活動報告 31

発行年月日 1996年3月1日

編集・発行 熊本大学文学部考古学研究室
〒860 熊本市黒髪2-40-1
TEL・FAX 096-342-2324

印刷 下田印刷
〒860 熊本市南熊本3丁目1-3
TEL 096-362-7171